

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年5月10日(日) 午前10時～11時30分
場 所 上福岡二丁目集会所（上福岡二丁目町内会）
天 気 くもり
参加者 38人



主な意見等

参加者 子ども一人当たり保育にかかる費用について、公立の保育所は160万円、民間保育園は115万円と説明がありましたが、なぜそのような差が出てくるのですか。これからは保育と介護が必要。若い人は収入が少ないため共働きが絶対となりますが、それには、保育園、保育士も必要だし、長生きしているので介護士も必要となります。公立は安定収入ですが、認可保育園の給料は安く男子だけが家庭を支えるわけではありませんが、ひとりの収入で家庭を支えることができません。家庭を支えることができないのでは、子どもが産めないということになり、少子高齢化が進むこととなります。市として委託するのであれば、必要とされている保育士と介護士の収入をきちんと生活できるレベルにするよう考慮できませんか。

市 長 公立保育所は保育士が公務員ということもあります。市としては、委託額について引き上げをしていますが、保育士が少ない状況です。市町村は国の法制度で実施しています。国は介護士の報酬を引き上げるとしていますが介護予算は減らされている状況です。行政では対応できない問題もあり、国の制度改正などが必要な部分もあります。公務員の保育士は若干採用していますが、これ以上採用を増やしていこうとは考えておりません。

参加者 認可保育園を増やして公立保育所を2つ廃園しましたが、新たに公立保育所を増やす予定はありますか。

市長 公立保育所は増やせません。公立保育所には建設補助などないので、1園作ると3億円かかります。民間で設置すると補助等もあり1園5千万円でできます。もし、公立保育所を4園作るとなると12億円になります。国や県の制度に逆らっては実施できません。併せて、国が将来について考えるべきことでもあります。現在、ふじみ野市の人口は増えていますが、国全体の施策展開が図られなければ、おそらく減少していきます。今、必要となる保育士を採用すると、保育が不要となった時でも雇い続けることになります。国の流れと国の法制度が変わらない限りは、現状の制度の中で負担を抑えながら、ニーズに応じていくことしかできません。

参加者 認可保育園であっても、ある程度の生活ができる収入が得られないと本当に子どもが減少し、さらに悪化してしまいます。国が国がと言われていますが、市として訴えることはできませんか。

市長 訴えています。私は、国のせいにはしていません。介護の話ですが、本市には特別養護老人ホームや老人保健施設等があり、また、サービス付き高齢者専用賃貸住宅というものがあります。このサービス付き高齢者専用賃貸住宅には住所地特例がありません。介護施設の入所は、介護度の高い方が優先されます。住所地特例は、例えば、川越市に住んでいる方が本市の施設に入所した場合は、川越市が介護給付を負担するものです。この制度がないと施設が沢山ある市の負担が大きくなってしまいます。サービス付き高齢者専用賃貸住宅は介護も受けられる住宅ですが、本市にある施設に住んでいる時に要介護の認定を受けると、全て本市の負担となります。このサービス付き高齢者専用賃貸住宅は国土交通省が進めているため、住所地特例をきちっとしてもらえないと、施設が作られる自治体は規制ができず大変困ると太田国土交通大臣へ直接伝えたところ、今年度から制度が改正されました。

また、今年、小中学校の大規模改造事業について補助金申請をしたところ、大規模改造2校、トイレ改修2校が不採択となりました。この事業は、平成26年度に設計を行い、2か年かけて夏休みに工事を

実施するので中止することはできません。この不採択により1億5千万円の影響があります。そこで、下村文部科学大臣に直接話をするため調整し、最終的には副大臣とお会いして話を聞いたところ、補助金は軒並み切られており、国としては、耐震補強工事を優先し他の部分は我慢してもらおうという考えでしたが、今まで、耐震補強工事を実施してこなかった所に補助金を付けるのはおかしい、現場をよく見て考えて欲しいと要望してきました。

おかしい部分は沢山あります。国が悪いとかではなくて、市町村は基礎自治体と言われていますが、身近な市町村で問題は起きます。もっと国に変えて欲しいこともあります。今の置かれた現場の中で精一杯やる必要があると考えています。

亀居保育所は地権者から建物まで借りています。そのため、耐震補強はオーナーが行うことになりますが、難しいと言われました。西保育所は、建て替えとなると3億円かかる実態があります。保護者と話をして、西保育所・亀居保育所の方は、ほぼ希望どおりの施設へ移動できました。亀久保保育所と鶴ヶ岡保育所も耐震補強は困難なので、関係者と2回の意見交換をして今後3度目の意見交換の後に廃止をして、来年作る4園の認可保育園の希望する施設に移ってもらいたいと考えています。

参加者 将来的には、公務員の保育士はいなくなるということですか。

市長 あり得ることですが、今の公立保育所を維持していくため、最小限の補充をしながら運営していきます。将来的に制度が変わらない以上、公立から民間へという流れは起こり得ると思います。民間の保育士の処遇改善について国が考える必要があるのかと思います。

参加者 上福岡2丁目地内には、近隣に中央公園があるためかひとつも公園がありません。みほの公園を作るようすし、元気・健康都市宣言をされたようなので、健康を維持するための健康遊具がある公園を2丁目に作っていただけないでしょうか。元気な高齢者を増やしたいと思います。

市長 みほの地域には小さな借地公園しかなく、距離も遠い状況です。たまたま廃止された県の職員住宅があり、そこを活用しました。公

共的な空地は災害時にも使えます。近くに公園があればよいと思いますが、中央公園まで歩いて行っていただきたいと思います。上福岡1丁目地内にも公園はありません。現在、公園遊具も老朽化しており、優先順位を決めて改修しています。また、あと1年使用する予定となっている公立の保育所に天井落下防止の網を張り安全性を高めました。本市が絶対に忘れていけないのは平成18年のプール事故であり、職員には常々話しています。この事故を風化させないで日本一安全なまちにしないといけないと考えています。

元気な高齢者を増やし、いつまでも現役でいていただこうと思っています。中央公園の一部に健康遊具を設置することについては検討します。

また、公園は災害の拠点にもなると考えています。災害のタウンミーティングの時にも他人の敷地であろうが、まず自分の身を守って欲しいと伝えてきました。住宅密集地内の空き家のこともあるので相乗効果を図り進めていきたいと思っています。議会でも公共的な避難スペースが必要とも言われています。ご意見を参考にして進めていきたいと思っています。

- 参加者 3点ほど要望と質問をお願いします。
- 1点目、黄河菜館付近の歩道拡幅について、早めに進めて欲しいと思います。
- 2点目、踏切近くのLAWSONから県道に出る所に段差があり危ない状況です。歩行者のためにも何とかして欲しいと思います。
- 3点目、1点目付近の県道交差点に右側車線はできるのでしょうか。

- 市長 1点目については、県道なので県事業ではありますが、市も一緒に進めており拡幅は進んでいます。しかし、地権者の関係もあり思ったように進まないのは事実です。何とか改善を図りたいと思います。
- 2点目については、現場を確認します。
- 3点目については、右折レーンを作るのは難しいと思いますが、持ち帰り検討してみます。

- 参加者 駅前が古い街になっています。昔は華やかでした。富士見市には

ららぼ一とができましたが、同じようなことをするのではなく、上福岡駅前周辺を古き良き上福岡の街並みで復活させるとあったかいまちづくりになるのではないのでしょうか。どこか商店街を決めて、入りたい店舗を見出し復活させていくことやシャッターには学生に絵を描いてもらうなど、ふじみ野市らしさを出せるとよいと思います。

また、商店街で買い物が完結できるようにしたほうがよいですし、お年寄りのコミュニケーションの場にもなります。

市長 非常に良いお話だと思います。私の家も店舗でしたが、市長になり店の仕事は止む無く辞めざるを得ませんでした。ただし、シャッター街にはしたくはないという思いで閉めておくのではなくガラス扉に改装しました。また、現場では後継者を作りたいと言う話も聞いています。現座、市の取組としてチャレンジショップを行い、起業の支援をしています。駅周辺の商店街のごちゃごちゃ感が昭和を感じられて良いという人がいます。東上線沿線でも商店街があこの面積で固まっているのはまれで、特徴でもあるので何らかのテコ入れによりお金をかけることは難しいですが工夫していきたいと思えます。何か起爆剤を入れれば変わると思うので、ご意見を参考にさせていただきます。

参加者 特徴のあるまちづくりをして欲しいです。ここにしかないものがあればよいと思います。手作り雑貨、洋服、おいしい食べ物など、特徴があればそれを目当てに人が集まると思います。

市長 名産特産があればよいと思えますし現在地域ブランドも進めていますが、なかなか難しいことでもあります。

現在、市では、待機児童対策、小中学校の耐震補強工事、ICT教育など細かい部分では色々ありますが、子どもたちに対する環境整備を行った効果が出ていると感じています。人口も増加していて増加率は県内3位でした。特に子育て世代が増加しており、高齢者を支える世代が転入してきています。例えば、西側地域にあるマンションは、三角小学校の大規模改造を決定したところで入居者が増加しました。待機児童対策として平成24年度はゼロになりました。子どもたちの環境を良くすると人が増えます。子ども優先の施策を進めていると老

人会で話すと自分たちはどうなると言われますが、今まで頑張ってきた人たちを支えていけるまちにしていきたいと答えています。

特徴あるまちにしていけるよう頑張っ進めていきます。

参加者 子育てに対する市の援助内容などについて意外と知らないことがあるので、子育てに関する情報をもっと周知した方がよいのではないのでしょうか。

市長 市役所はホームページに掲載や市報に掲載したなどと言うことも多いですが、例えば保育所の入り口に掲示することなども検討していきます。

参加者 駅周辺のことについてお伺いしたい。駅東口周辺はすっきりしましたが、市の方針として、あのまま放置するのか、それとも改良を予定しているかなどあったら教えてください。

市長 移転交渉を行う際には、見合う代替地があるか調査するなど非常に時間がかかる事業です。現在、東武鉄道とも話し合いをするなど検討しています。街の玄関口となる場所であり、ふじみ野駅前や上福岡駅西口もきれいに整備されている状況なので、頑張っ進めていきたいと考えています。